

様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年6月26日

山形市長 佐藤孝弘 殿

提出者 山形市銅町二丁目2番30号
住所 スズキハイテック株式会社
氏名 代表取締役 鈴木一徳
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 023-631-4703

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、2023年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	スズキハイテック(株)本社工場
事業場の所在地	山形市銅町二丁目2番30号
事業の種類	電気めっき業(E 2464)
特別管理産業廃棄物処理計画における 計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	108.6 t	全処理委託量	1.60 t
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	- t	優良認定処理業者への 処理委託量	- t
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	- t	再生利用業者への 処理委託量	- t
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	107.0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	- t
自ら埋立処分 を行う 特別管理産業廃棄物の量	- t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- t

電子情報処理組織の使用に関する事項

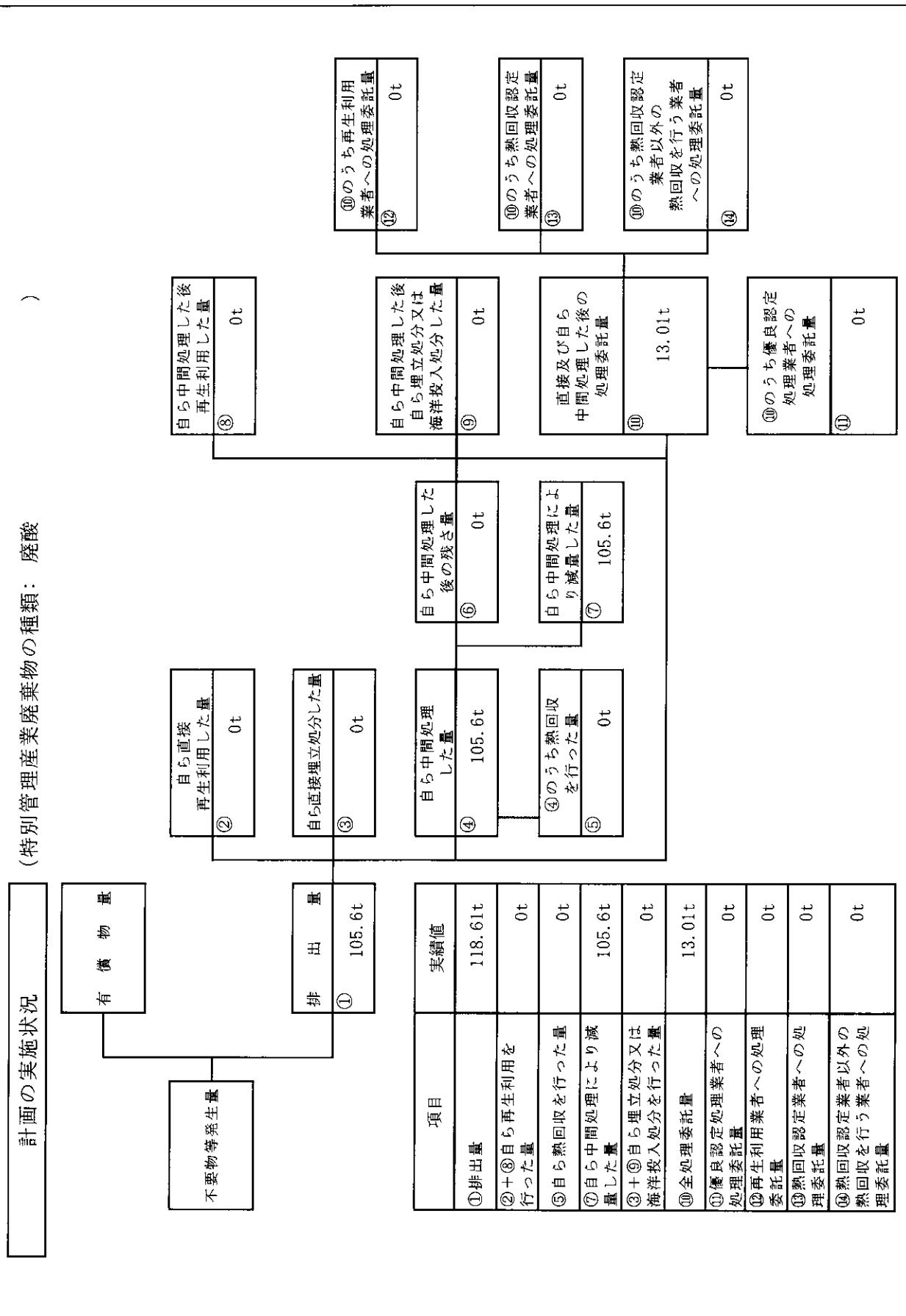
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度(2022年度) 前年度(2023年度)	2.08 t 26.76 t
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 電子マニフェスト導入済み	6年6.26	
※事務処理欄	廃棄物指導課	

(日本工業規格 A列4番)

(第2面-1)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃酸)



(第2面-2)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

項目	実績値	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
①排出量	7.2t	④ 7.2t	⑥ 0t	⑨ 0t	⑪ 0t	⑬ 0t	⑭ 0t
②+③自ら再生利用を行った量	0t		④のうち熱回収を行った量	⑦ 7.2t		⑩のうち熱回収認定業者以外の業者熱回収を行う業者への処理委託量	
⑤自ら熱回収を行った量	0t		⑤ 0t		⑪ 0t		
⑦自ら中間処理により減量した量	7.2t						
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t						
⑩全処理委託量	0t						
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0t						
⑫再生利用業者への処理委託量	0t						
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t						
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0t						
有價物質量							
不要物等発生量							
自ら直接再生利用した量	0t						
自ら直接埋立処分した量	0t						
自ら中間処理した後再生利用した量	0t						
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量							
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量							

(第2面-3)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 廃クロム)

有 傷 物 量		不 用 物 等 発 生 量		排 出 量		自ら中間処理した量		自ら直接埋立処分した量		自ら直接利用した量		自ら中間処理した後再生利用した量	
①	9.95t			②	0t	④	0t	③	0t	⑥	0t	⑧	0t
⑤				⑦	0t	⑨	0t	⑩	0t	⑪	0t	⑫	0t
⑪				⑫	0t	⑬	0t	⑭	0t	⑮	0t	⑯	0t
⑯				⑰	0t	⑱	0t	⑲	0t	⑳	0t	㉑	0t

(第2面-4)

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類: 汚泥(有害))

有 傷 物 量
不要物等発生量

不 傷 物 量
① 3.40t

自ら直接 再生利用した量
② 0t

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した後、直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	自ら中間処理した後、直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	自ら中間処理した後、うち熱回収を行った量	自ら中間処理した後、うち熱回収を行った量	自ら中間処理した後、うち熱回収を行った量	自ら中間処理した後、うち熱回収を行った量
①排出量	3.40t	④ 0t	⑥ 0t	⑨ 0t	⑩ 0t	⑪ 0t	⑫ 0t	⑬ 0t	⑭ 0t	⑮ 0t	⑯ 0t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t										
⑤自ら中間処理により減量した量	0t										
⑦自ら中間処理により減量した量	0t										
⑩全処理委託量	3.40t										
⑪優良認定業者への処理委託量	0t										
⑫再生利用業者への処理委託量	0t										
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t										
⑭熱回収を行いう業者への処理委託量	0t										

自ら中間処理した後、再生利用した量
⑧ 0t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0t

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0t

⑭のうち熱回収を行いう業者への処理委託量
⑭ 0t

⑪のうち優良認定業者への処理委託量
⑫ 0t

計画の実施状況
(特別管理産業廃棄物の種類: 廃油(有害))

有 備 物 量

)

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

② 0t自ら直接埋立処分した量

③ 0t自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0t排出量

① 0.396t自ら中間処理した後
再生利用した量

⑨ 0t項目
①排出量
②+③自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収を行う業者への処理委託量自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0t自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0t直接及び自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0t直接及び自ら中間処理した後の残さ量

⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0t自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 0t自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 0t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。